

ホンダ・レーシング・スクール鈴鹿(HRS鈴鹿) 2025年度Formula Classスカラシップ最終選考会のご報告

拝啓 秋涼の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当社の事業に格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、「ホンダ・レーシング・スクール鈴鹿(HRS鈴鹿)」では、2025年度「Formula Classスカラシップ選考会」の最終カリキュラムを10月7日(火)・8日(水)に行いました。「アドバンスコース」より選抜した精鋭を対象とし、Honda育成ドライバーを選出する「スカラシップ選考会」は今回をもって全2回・延べ4日間(コース使用16時間)に及ぶ全日程を無事終了、最終日にはスカラシップ獲得者を決定いたしました。これもひとえにご協賛・ご協力いただきました各社の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げますとともに、ここに開催のご報告をさせていただきます。

今後もHRS鈴鹿は世界に通用するドライバーの育成を目標に活動を続けて参ります。引き続きご理解・ご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

2025年10月

ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿事務局

●2025ホンダ・レーシング・スクール鈴鹿(HRS鈴鹿) Formula Classスカラシップ選考会 最終カリキュラム 開催概要

- 日時 : 2025年10月7日(火)・8日(水)
- 概要 : 10月7日(火) フリー走行・計測走行(2セッション)／セット走行 第1・第2ヒート(各6周)
10月8日(水) フリー走行・計測走行(2セッション)／セット走行 第1・第2・第3ヒート(各10周)
スカラシップ獲得者発表会
- 参加 : Principal…佐藤琢磨
(敬称略) Executive Director…中野信治
Director…佐藤浩二
Chief-Instructor…野尻智紀・大津弘樹
Instructor…加藤寛規・佐藤蓮・野村勇斗(10月8日のみ)・武藤英紀(10月8日のみ)
Physical Coach…鎌田貴

Formula Classスカラシップ候補生…黒沢和真・土橋皇太



カリキュラム最終日の朝、スクール用フォーミュラカー「HRS-F24」を囲み、佐藤琢磨Principalをはじめとする講師陣と最後の集合写真撮影を実施

 TAICHI

 Arai

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL®
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEC
BATTERY

 MOTUL

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TONY/KARI

 TORAY
Toray Carbon Magic

 KUMHO

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
SHOCK SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

[50音順]

トップカテゴリーで活躍する現役ドライバーも同時走行した 2日間・計4ヒートに及ぶセット走行を含む最終カリキュラム

入門用マシンであるフォーミュラEnjoyの車両を使用し、運転技能を審査する「Formula Class入校選考会STEP1」(延べ2日間)、HRS鈴鹿独自のフォーミュラカーを使用し、運転適性などを審査する「同STEP2」(延べ3日間)。Formula Class入校者の選抜を目的としたこの2つの選考会を経て選ばれた8名が、2025年度の「アドバンスコース」に入校。全4回・延べ8日間(コース使用32時間)のカリキュラムを経てさらに選抜した精鋭が、実戦デビューを照準においたプログラム「スカラシップ選考会」へと進出。今回の10月7日(火)・8日(水)の2日間が2025年度「HRS鈴鹿Formula Class」の全行程を終了する最後の日程となりました。

初日である10月7日(火)はまず20分間ずつのフリー走行を4セッションに渡って行い、各自路面コンディションとマシンの状態を確認しました。その後、5周と4周による計測走行を2セッション実施、さらに6周ずつによるセット走行を2ヒート行いました。

この日は候補生に加え、野尻智紀Chief-Instructorと佐藤蓮Instructor(ともにスーパーフォーミュラとSUPER GTに参戦中)、2024年度「HRS鈴鹿Formula Class」修了生である佐藤凛太郎選手(首席修了・スカラシップ獲得、フランスF4選手権に参戦)・新原光太郎選手(次席修了・スカラシップを獲得、FIA-F4選手権に参戦)・百瀬翔選手(FIA-F4選手権に参戦)が同時走行。また、佐藤琢磨Principal、中野信治Executive Director、佐藤浩二Director、大津弘樹Chief-Instructor、加藤寛規Instructorにはコースサイドやピットモニターにて候補生のドライビングをチェック、走行後に候補生に対してアドバイスを行っていただきました。



通常のカリキュラム同様、走行前全体ミーティングを実施、佐藤Principalをはじめ、各講師陣から様々な言葉が投げかけられる

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL®
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 MOTUL
RACING

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TONY/KARI
RACING

 TORAY
Toray Carbon Magic

 KUMHO

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
RACING SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

2セッションの計測走行と2ヒート制のセット走行で 「スカラシップ選考会」の成果を証明したカリキュラム最終日

いよいよカリキュラム最終日10月8日(水)は、スカラシップ獲得者発表の日。ウォーミングアップを入念に済ませ、佐藤Principalをはじめとする講師陣との集合写真撮影を実施した後、いつものカリキュラム同様、走行前全体ミーティングを行いました。ここでは佐藤Principalの「いよいよHRS鈴鹿Formula Class」全行程を締めくくる最後のトレーニングの日です。今日はフリー走行の時間を長く取ります。この時間を最大限に活用し、計測走行とセット走行をどう戦うのか、シミュレーションしてください。そして今日までに培った技術を全て出し切り、良い走行を見せて欲しいと思います」というコメントなど、講師陣から候補生に対して激励の言葉が掛けられました。

そしていよいよ最後の走行トレーニングへ。この日は佐藤(蓮)Instructor、佐藤(凜)・新原・百瀬の各選手に加え、野村勇斗Instructor(スーパーフォーミュラ・ライツとSUPER GTに参戦)も同時走行しました。

まずはマシンの個体差に関係なく確実なドライビングができるよう、初日のカリキュラムで使った車両からランダムに入れ替えられたスクール用フォーミュラカーのペダルの高さや踏みしろを確認した後、フリー走行を実施し、マシンの状態と路面コンディションを確認しながら慎重に走行を開始しました。

今回は新たな試みとして40分間という長い時間をフリー走行に充てました。この走行時間を活用し、サスペンションやスタビライザーの調整、エアロバランスなど、マシンのセッティングを煮詰めました。その後、ニュータイヤに交換し、4周による計測走行を2セッションに渡って実施。1セッション目の計測走行では新原選手がトップタイムをマーク。それに佐藤

(蓮)Instructor、野村Instructor、百瀬選手、佐藤(凜)選手、候補生の土橋皇太、同じく候補生の黒沢和真と続けました。続いて2セッション目の計測走行では野村Instructor、佐藤(蓮)Instructor、新原選手、百瀬選手、土橋、黒沢、佐藤(凜)選手のタイム順となりました。

さら10周ずつによる2ヒート制のセット走行を行いました。1セッション目の計測走行のベストタイムによって決まったグリッドに並んで行ったセット走行第1ヒートではポールポジションスタートの新原選手と3番グリッドスタートの野村Instructorが序盤からテールtoノーズのバトルを展開。3周目に野村Instructorが新原選手の前に。その若干後方では百瀬選手、土橋、佐藤(蓮)Instructorがバトルを展開します。さらに7周目になるとそこから百瀬選手が抜け出して単独3番手に。土橋、佐藤(蓮)Instructor、黒沢の3名がテールtoノーズの状態になりましたが、最後まで順位が変わることはなく、野村Instructor、新原選手、百瀬選手、土橋、佐藤(蓮)Instructor、黒沢、佐藤(凜)選手のオーダーでチェッカーを受けました。

また、2セッション目の計測走行のベストタイムによって決まったグリッドに並んで行ったセット走行第2ヒートではポールポジションスタートの野村Instructorがオープニングラップから早くも後続を引き離すことに成功。それに新原選手、百瀬選手と続けました。2周目の1コーナーで百瀬選手がミスしたことにより、佐藤(蓮)Instructorと土橋が百瀬選手をパス。5周目には新原選手がミスし、佐藤(蓮)Instructorが前に。百瀬選手、黒沢、佐藤(凜)選手がテールtoノーズのバトルを展開する中、黒沢が6周目に百瀬選手をパス。野村Instructor、佐藤(蓮)Instructor、新原選手、土橋、黒沢、百瀬選手、佐藤(凜)選手のオーダーでチェッカーを受けました。



レース本番さながらの緊張感で行われた最終日、10周ずつ×2ヒートのセット走行
集中力を高く保ったまま最後まで確実にドライビングできる力が身についたかを確認

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 MOTOR RACING

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TONY/KARI
23 003 007 003 002

 TORAY
Toray Carbon Magic

 SUZUKA

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
SHOCK SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS



コースイン直前の準備に余念がない受講生たち。ガレージの中も緊張感が漂う



スーパーフォーミュラ、SUPER GT、フランスF4、FIA-F4で活躍する現役ドライバーが同時走行し、本番レースさながらの実践トレーニングとなったセット走行

TAICHI

Arai
HELMET

EARPEACE

EIKO
Glory of Karting

EXGEL®
Motor-Sport

NGK
SPARK PLUGS

ENDLESS
Challenge to the Future

HEDC
BATTERY

FRONT TANK
FUEL TANK

Sabell

CCI

SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

ThreeBond

DUNLOP

TODA
RACING

TONY/KART
23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

TORAY
Toray Carbon Magic

竜井

BRIDGESTONE

PETRONAS
Syntium

hit-air
SHOCK SUPPORT SYSTEM

mooncraft

rizoma

WAKOS

世界のモータースポーツシーンでの活躍を目指す 「HFDP」のスカラシップ獲得者を発表

レベルの高い競争の中、レースを優位に戦うためのドライビングテクニックはもちろん、レースと向き合う心構えなども教えるべく、4ステップのカリキュラムとして進めてきた2025年度の「HRS鈴鹿Formula Class」も今回のカリキュラムをもって全ての日程が無事終了。その集大成として、この日までの延べ4日間で行った「スカラシップ選考会」での成績をもとに講師陣による協議を行い、2025年度のスカラシップ（奨学制度）獲得者を決定。その発表を行いました。

スカラシップ獲得者発表会では、まず株式会社ホンダ・レーシング 四輪レース部 レース運営室 室長の栗田哲弘様よりご挨拶をいただき、その後、HRS鈴鹿Formula Class Principal兼HRCエグゼクティブ・アドバイザーの佐藤琢磨

氏から優秀な成績を納めた土橋皇太を2025年度のスカラシップ獲得者とすることが発表されました。土橋はHondaのドライバー育成プロジェクト「Hondaフォーミュラ・ドリーム・プロジェクト（HFDP）」の選出ドライバーとして2026年度FIA-F4選手権に参戦する予定です。

「HRS鈴鹿」出身者には、佐藤琢磨Principal（1997年度修了）はもとより、2021年シーズンからF1にレギュラー参戦している角田裕毅選手（2016年度修了）など、国内外で活躍するドライバーが数多くいます。彼らに倣って今回の受講生たちも成長していくことが期待されます。今後も「HRS鈴鹿」の活動、そして「HRS鈴鹿」の卒業生たちの活躍にご注目願います。

●佐藤琢磨Principalのコメント●

『国内のトップドライバーと互角の戦いを見せることができるまでに成長したことを、講師一同うれしく思っています。人として成長し、モータースポーツ界をリードしていく人間性を持った選手を育成していくのもHRS鈴鹿の理念です。ここで鍛えられた精神力をもち、自分自身を信じてこれからも成長していって欲しいと思います。そして世界で活躍できることを祈っています』



修了式後の集合撮影

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL®
Motorsport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 MOTUL
RACING OIL

 Sabert

 CCI

 SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TONY KART
23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

 TORAY
Toray Carbon Magic

 橋石

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
SHOCK SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS

●2025年度HRS鈴鹿Formula Classスカラシップ獲得者のコメント●

◆土橋皇太(つちはしこうた) 18歳／兵庫県出身

【主な経歴】

- 2023年
 - ・GPR全日本カート選手権OKクラス スポット参戦
第1戦3位(スーパーポール獲得)
- 2024年
 - ・GPR全日本カート選手権OKクラス スポット参戦
第5戦5位(スーパーポール獲得)
第6戦優勝(FIA MOTORSPORT GAMES日本代表選出)
 - ・カートレースIN SUZUKA Senior MAXクラス 参戦
年間ランキング4位(最高位2位)

【コメント】

『このスクールに入校した時からスカラシップを獲得することを目標にチャレンジしてきたので、まずはホッとしました。来シーズンはどのカテゴリーに参戦するかはまだ決まっていますが、佐藤琢磨Principalもおっしゃっていた通り、まずはスタートラインに立った状態だと思っていますので、これからも全力で戦っていきます。私は海外でレースをするのが夢です。近いうちに海外のレースに参戦して力を認められ、そして最高峰のF1でチャンピオンを獲得したいです』



スカラシップを獲得し、2026年度「Hondaフォーミュラ・ドリム・プロジェクト (HFDP)」の育成ドライバーとしてレースに参戦することが決定した土橋 皇太(写真右)と佐藤琢磨Principal





現役トップドライバーによる個別指導など、実践的かつ充実したプログラムを用意。ここで育ったドライバーは次世代のモータースポーツシーンを牽引する人材となっていく



ただ単に技術を学ぶだけでなく、講師陣と関わる中で積極性や人間性も磨くことができるのもHRS鈴鹿ならではの

 TAICHI

 Arai
HELMET

 EARPEACE

 EIKO
Glory of Karting

 EXGEL®
Motor-sport

 NGK
SPARK PLUGS

 ENDLESS
Challenge to the Future

 HEDC
BATTERY

 MOUNTAIN
RACING

 Sabelt

 CCI

 SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

 ThreeBond

 DUNLOP

 TODA
RACING

 TONY/KART
23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

 TORAY
Toray Carbon Magic

 KUMHO

 BRIDGESTONE

 PETRONAS
Syntium

 hit-air
SHOCK SUPPORT SYSTEM

 mooncraft

 rizoma

 WAKOS



走行後、データロガーを入念にチェックし、数値化・可視化された自分の走りを分析する



TAICHI

Arai
HELMET

EARPEACE

EIKO
Glory of Karting

EXGEL
Motorsport

NGK
SPARK PLUGS

ENDLESS
Challenge to the Future

HEDC
BATTERY

ROCKSTAR
ENERGY

Sabelt

CCI

SHIBA LIVING JAPAN
advanced technology products

ThreeBond

DUNLOP

TODA
RACING

TONY/KART

TORAY
Toray Carbon Magic

竜井

BRIDGESTONE

PETRONAS
Syntium

hit-air
SHOCK SUPPORT SYSTEM

mooncraft

rizoma

WAKOS